

第4回クールジャパン戦略推進会議資料

国土交通省

平成27年4月22日

重点市場(20市場)

韓国・中国・台湾・香港・タイ・シンガポール・マレーシア・インドネシア・フィリピン・ベトナム・インド・豪州・米国・カナダ・英国・フランス・ドイツ・イタリア・ロシア・スペイン

現地消費者向け事業

○海外広告宣伝



新聞、旅行雑誌、WEB、映像等を通じ、現地消費者向けに訪日観光の魅力を発信

○海外メディア招請



現地メディアを日本の観光地へ招請し、帰国後、外国人目線による記事掲載、番組放映等により訪日観光の魅力を発信

○旅行博出展・イベント開催 〈現地消費者向け〉



海外旅行に関心を持つ現地消費者へ訪日観光の魅力や旅行博等でPR、併せて訪日旅行商品の即売を支援

現地旅行会社向け事業

○海外旅行会社招請



現地旅行会社を日本の観光地へ招請し、新たな訪日旅行商品の造成を働きかけ

○ツアー共同広告



日本政府観光局の訪日観光PRと旅行会社の訪日旅行商品広告を共同で実施し、販売を促進

○旅行博出展・イベント開催 〈現地旅行会社向け〉



現地旅行会社等が一堂に集まる旅行博への出展、商談会等の開催

在外公館等連携事業



◎在外公館等と連携し、オールジャパンの体制による訪日プロモーションを展開

[イベント開催、旅行博出展等]

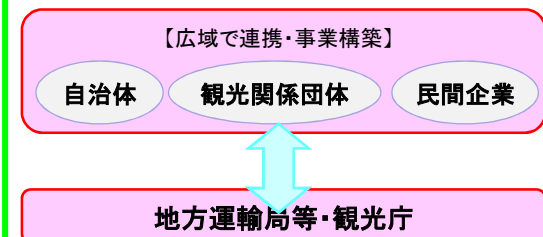
官民連携事業



◎海外にネットワークを有する企業と連携し、「日本ブランド」ファンへの訪日プロモーションを展開

[現地店舗・ネットワークを活用した訪日キャンペーン、SNS・WEBを活用したプロモーション等]

地方連携事業



◎広域で連携した訪日プロモーションを、地域と国が協同で実施

[旅行会社招請、メディア招請、旅行博出展等]

クールジャパン戦略とビジット・ジャパン事業の効果的な連携

- 観光庁、JNTO、経済産業省、JETROは、2013年6月に締結した4者共同行動計画に基づき、「ビジット・ジャパン」、「クールジャパン」及び「インベスト・ジャパン」に関する取組について、具体的な連携を推進
- クールジャパン機構とJNTOは、2014年9月5日に連携強化に向けて、業務連携に関する覚書を締結

＜具体的連携の例＞平成26年11月14～16日
クールジャパン事業と連携して、3つのイベントを同時期に、同じエリアで開催することにより『JAPAN WEEKEND』と称し、タイ・バンコクにおいて効率的にビジット・ジャパン事業を実施

- ①観光庁・JNTO:
「Visit Japan FIT Travel Fair」
- ②JETRO・PROMIC:
「J POP Signature in Bangkok 2014」
- ③国際ドラマフェスティバルin TOKYO実行委員会:
「J Series Festival」



Tokyo Otaku Mode等と連携しての訪日情報を発信

- 各国で広く利用されている海外アニメファン等向けのサイト（Tokyo Otaku Mode）と、旅行商品予約サイト（Expedia）と連携し、オタクカルチャーの魅力発信から訪日旅行商品購入までを一元化することにより訪日を促進。

＜具体的連携の例＞平成26年8月～（継続中）
Tokyo Otaku Mode社と、世界最大のオンライン旅行サイトのExpedia社と連携し、特設WEBサイト作成するとともに、訪日プロモーション事業を実施。

- ①WEBサイト上で「アンケートキャンペーン」を実施。アンケートに回答するとExpedia社で使える割引クーポンを提供。
- ②聖地周辺の観光地の映像や「アキバ情報」（アニメ関連店舗等）を掲載。
- ③日本で開催されるアニメ関連イベント等を発信



日本産酒類の魅力の発信

- 日本の国際空港（成田・羽田・中部・関西）で、訪日外国人を対象に、日本酒・焼酎の試飲と併せてお酒の製法や飲み方等のお酒に関わる文化を紹介し、日本産酒類の魅力を発信。
- また、酒蔵ツーリズム推進の観点から、見学・体験可能な酒蔵情報等も紹介。

ニッポンを飲もう！日本の酒キャンペーン

開催場所：成田・羽田・中部・関西空港免税エリア内

主催：酒造組合中央会、各空港会社

後援：国土交通省（航空局）、観光庁、国税庁

開催期間：2013年10月1日～（継続中）

利用状況：約10.5万人（2014年12月16日迄の集計値）

※開催日は、空港によって異なる。

※利用状況人数の集計期間は、空港によって異なる。

（成田2014年12月4日・羽田12月16日・中部10月31日・関西10月13日迄の期間で集計）



地域の創意工夫の場となる「道の駅」

○ 「道の駅」は

主に市町村が設置し、国土交通省が登録する道路休憩施設

駐車場やトイレのほか、情報提供・休憩施設や地域振興施設を備え、地域の情報発信や交流の場として活用されている。

(施設イメージ)



制度創設 平成5年

「道の駅」登録数は、全国**1,059**駅 (H27年4月15日時点)

○ 地域の創意工夫で、「道の駅」を地域活性化の拠点とする取組が進展

● 観光で人を呼ぶ

「農業プラス観光」で人口3700人の村に年間120万人来訪。リピート率は約7割。
(群馬県川場村「川場田園プラザ」)



● 移住で人を呼ぶ

毎年100名以上が「道の駅」へ移住相談。これまで17世帯34名が移住
(熊本県小国町「小国」)



● 特産品で盛り上げる ～6次産業化で雇用と経済効果～

特産品を活かした加工食品の開発販売等、約60名の雇用を創出
(愛媛県内子町「内子フレッシュパーク」)



● 「小さな拠点」をつくる

診療所や役場機能等、生活に必要な機能をワンストップで提供
(京都府南丹市「美山ふれあい広場」)



● 防災力を強化する

広域防災拠点として高度な防災機能を発揮
(岩手県遠野市「遠野風の丘」)



「道の駅」の新たな展開 ～重点「道の駅」の選定～

- 「道の駅」を、好循環の地方拡大の強力なツール、地方創生を進めるための「小さな拠点」と位置づけ、各省庁と連携して、特に優れた取組を選定し、重点支援する取組を実施。
- 有識者委員会を経て、重点「道の駅」等として合計90箇所を選定し、公表。(1月30日)

「道の駅」の機能別タイプ

地域外から活力を呼ぶゲートウェイ型

- ① 地域の観光総合窓口機能
地域全体の観光案内、宿泊予約窓口 等
- ② **インバウンド観光の促進**
外国人案内所、免税店、無料公衆無線LAN、海外対応ATM 等
- ③ 地方移住等の促進
地方移住のワンストップ窓口
ふるさと納税の情報提供 等

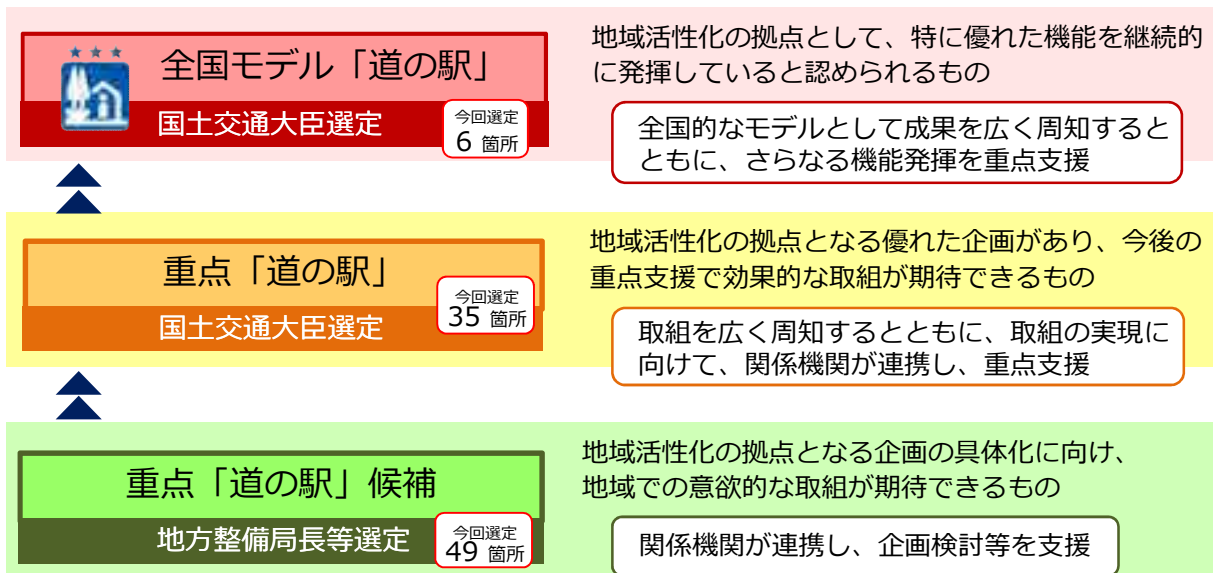
「道の駅」が活力を呼び、雇用を創出、地域の好循環へ



地域の元気を創る地域センター型

- ④ 地域の産業振興
地方特産品のブランド化、6次産業化 等
- ⑤ 地域福祉の向上
診療所、役場機能、高齢者住宅 等
- ⑥ 高度な防災機能
広域支援の後方支援拠点、防災教育 等

<支援にあたっては関係省庁が連携、各種制度が活用可能>



国土交通省	社会資本整備総合交付金
	集落活性化推進事業 河川環境整備事業 地域観光環境改善事業 地域公共交通確保維持改善事業 河川環境整備事業 みなとオアシス制度 等
総務省	地域経済循環創造事業交付金 等
農林水産省	農山漁村活性化プロジェクト支援交付金 6次産業化ネットワーク活動交付金 都市農村共生・対流総合対策交付金 等
経済産業省	次世代自動車充電インフラ整備促進事業 ふるさと名物応援事業 地域エネルギー供給拠点整備事業 等
内閣府	地域住民生活等緊急支援のための交付金 (地方創生先行型) (平成26年度補正のみ) 地域再生戦略交付金

インバウンド観光を促進する「道の駅」

外国人観光案内所認定取得の推進

- 日本政府観光局(JNTO)では、英語で地域の観光案内が得られるなどの要件を満たす案内所を全国で認定(平成26年度末で全国528箇所を認定)
- インバウンド対応を特徴とする重点「道の駅」をはじめとした認定取得が加速



平成25年度認定 6駅 ⇨ 平成26年度認定 69駅
(平成27年3月31日付けで63件が追加認定)

「阿蘇」:道の駅で唯一カテゴリー2 ※



外国人対応可能なスタッフが常駐し、広域観光や交通情報を提供(英語、中国語:1名、英語:2名)



コンシェルジュを配置して、地域観光・周遊観光を案内。

- ※フルタイムで少なくとも英語で対応可能なスタッフが常駐している。
- ※電話通訳サービス利用やボランティアスタッフの協力を得て、英語以外の言語にも対応できる体制がある。
- ※広域エリア内の公共交通利用や観光情報などを提供できる。

道の駅「ニセコビュープラザ」 北海道ニセコ町

- 滞在型観光の拠点化に向け**観光コンシェルジュ、通訳ホットライン**等により**情報機能を拡充**
- 地域を支える観光と農業の2つの産業を結びつける場の創出(**免税向け地場産品の開発等**)



- ニセコ町産酒米100%使用のお酒の開発をはじめとした免税向け商品の充実など、さまざまな産業が活躍できる場、来訪者と生産者の交流促進の場を創出

インバウンド観光を促進する「道の駅」

「しまなみ海道周辺「道の駅」

愛媛県今治市
(5駅)

- サイクリングコースなどの観光情報を発信し、**国内外の観光客を地域に呼び込む環境を構築**
- 外国人観光案内所や免税店を設置することで、**インバウンド観光対応を強化**

◆連携する5駅すべてが外国人観光案内所認定を取得

- ・今治湯ノ浦温泉
- ・伯方S・Cパーク
- ・今治市多々羅しまなみ公園
- ・しまなみの駅御島
- ・ようみいきいき館



「伊豆道の駅ネットワーク」

静岡県伊豆地域
(7市6町)

- 地域ぐるみで「道の駅」をネットワーク化し、**地域の多様な観光情報を「道の駅」から発信(8駅)**
- 地域の旬な情報の発信や外国人対応を連携で強化し、**圏域としての魅力を向上**

連携による外国人対応



- ・協議会を活用した情報の共有化、マニュアル等を活用したノウハウの共有
- ・高度な外国人対応が可能な道の駅による支援

ネットワーク効果のイメージ



◆8駅のうち4駅で外国人観光案内所認定を取得

- ・天城越え
- ・伊東マリンタウン
- ・開国下田みなと
- ・下賀茂温泉湯の花

インバウンド観光を促進する「道の駅」

道の駅「発酵の里こうざき」

千葉県神崎町

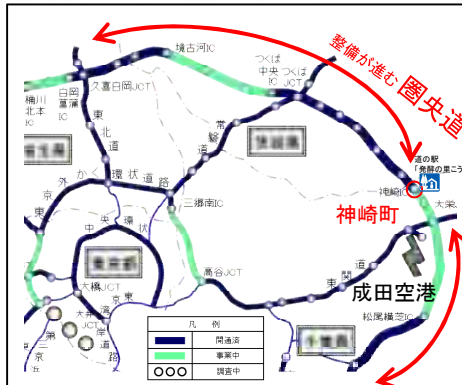
- 町の資産である発酵文化(酒、味噌、醤油)を「道の駅」を核として世界に発信
- 圏央道開通で成田空港とアクセス強化され、ゲートウェイとして機能する「道の駅」(H27年4月下旬オープン予定)



健康を増進する発酵をテーマにした特産品や加工品を展示

日本酒の試飲もできる酒蔵まつり(H21～)

- ・人口6500人の町に約5万人が来訪
- ・JR東日本は新宿から直通臨時列車を運行



- 免税店、外国人案内所の整備
- 発酵製品を活かしたオリジナル商品やレストランメニューの開発
- 酵素を活かした発酵足湯の整備

道の駅「あ・ら・伊達な道の駅」

宮城県大崎市

- 外国人案内所登録を実施し、地域在住外国人や語り部による伊達藩の文化・史実を外国人等に観光案内
- インバウンド観光を促進する観光拠点を構築



至古川